

ちょうりんじ  
長林寺

つか  
遣いだんじりと七福神

しちふくじん

所在地：洲本市 五色町都志万歳



長林寺境内 出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP



遣いだんじり 出典：洲本市 HP

長林寺は、天平9年(737)に僧行基がこの地に七堂伽藍を創建し、本尊である十一面観音菩薩像を安置したのがはじまりとされています。延喜元年(901)には、菅原道真が、九州に赴く際に詣に立ち寄ったとの記録があります。

長林寺では、毎年7月14日の十一面観音菩薩の縁日の夜、勇壮な「遣いだんじり」が境内を練り歩きます。「遣いだんじり」とは、二人の乗り子を乗せただんじりを縦横無尽にひっくり返しながら操り、様々な妙技を披露するもので、淡路島の個性豊かな伝統芸能を伝える行事として知られています。

また、長林寺には、淡路七福神霊場の一つとして福祿寿が祀られ、境内には淡路島特産のいぶし瓦でできた福祿寿像が参拝者を迎えています。

#### 【景観の特徴】

- 自然がつくりだす景観
- ✓ 歴史がつくりだす景観
- ✓ 生活・文化がつくりだす景観
- 新しくつくりだす景観

#### 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道88号線、県道31号線へ。県道31号線を南下し、車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図